

いつも、おかあさんがりょうりをつくってくれます。
わたしも、おとなになったら、
りょうりをつくらないと、いけません。
こどもがのこさずたべければ、
らくちんらくちん。
さらをあらうのが、
らくちんですね。

永江^{ながえ} 智花^{ともか} (小1 加賀市)

ありがとうのがみかとおもったけれど、
たのしいてがみだね。
わらってしまいました。
のこさずたべてくれると
たしかにらくちんだね。
でも、それいじょうに
うれしいきもちになるよ。
こんどいっしょに
さらあらおうね。

永江 ひとみ (母)

おとうさんだいすき。
おとうさんのせなかは
どうしてそんなにおおきいの？
おしごとがんばってるからだよ。
おとうさんいつも
ありがとう。
ずっと
いっしょにいたいから
しごとがんばりすぎないで。

井上^{いのうえ} 心愛^{こみな} (小1 能美市)

「どうしてせなかがおおきいの？」
って、しごとをがんばっているのもあるけど、
ここなががっこうで
がんばってべんきょうして、
あそんでつかれたときに、
おんぶするためにおおきいんだよ。
べんきょう、
あそびがんばってね。

井上^{いのうえ} 悟^{さとむ} (父)

「ぼくもだっこしてよ。」
小さくはずかしそうに言った
ゆいくんの声を聞いて、
ママの胸はぎゅっと切なくなつたよ。
弟が産まれてからずっと
我慢していたんだね。
ごめんね。

「抱っこしよう。」

明日からは、ママから言うね。

西井 直子 (母)

あのね、
さきちゃんをだっこしているのをみたら
ぼくもママにくっつきたくなるの。
ぎゅっとしてもらったら、
あつたかいきもちになるよ。
でも、さきちゃんがなくから
ちよつとでいいよ。
おにいちゃんだもん。

西井 結人 (小1) 金沢市

うれしいことがあったら

必ずパパのぶつだんに

話をする陽菜。

そのあとに

「パパは何も言ってくれない。」

と悲しそうなかおをするけど、

パパもママときっと同じきもちで喜んでいよ。

これからも

その優しいきもちでいてね。

竹田 陽子（母）

パパはみえないけど、

ママがぶつだんに

毎日おまいりしているから

パパはそこにいるとおもって

ママに話すことを

パパにもつたえているの。

パパにあいたい。

わたしの話をきいて、

ゆめにパパがでてきますように。

竹田 陽菜（小1 かほく市）

お母さん、
 ぼくの事を生んでくれて
 ありがとう。
 大学に入って、
 りっぱな大人になるから、
 見まもっていてね。
 ぼくが大学に入るまえに
 死なないでね。
 これからもよろしく。

船木 竜之介 (小3 津幡町)

あなたが
 大人になるまで生きることが
 お母さんの使命です。
 「生きててくれてありがとう。
 お母さん、
 あやまらなくていいよ。
 生んでくれただけで大好き。」
 急病から助かった時のあなたからの言葉は、
 今でも心の宝物です。

船木 さやか (母)

おかあさんが夜お仕事でいないとき、
さみしい気持ちになるけど、
おかあさんのおいのついたまくらがあると、
安心してねむれるよ。
でも、
ときどきなみだが出て、
ぬらすことがあります。
体からだに気をつけて、
がんばってね。

堂ヶ平どうがひら 琉夏るか (小3 七尾市)

ママの夜のお仕事ときの時に
ママのまくらつかを使ってくれて
うれしかったよ。
琉夏るかがときどき泣ないてしまうのも
知っています。
さみしい思おもいをさせてしまうけど、
その分ぶんママもお仕事ぶんがんばるので、
これからもよろしくね。

堂ヶ平 志奈ゆきな (母)

お母さんのねている時の顔を
さわるのが大すきなんだ。

私を起こす時のギユツと、

頭なでなでと、

おでこペチペチはお母さん流の

「おはよう」でしょ？

知ってるよ！

お母さんの顔をさわるのが

私流のおはようだよ！

宮内 鈴朱（小4 志賀町）

朝早くに目が覚めた時、

お母さんの寝ている顔を

じーっと眺めてクスクス笑っているの

知っているんだよ。

お母さんは、

夜遅くに鈴朱の寝顔と寝相を写真に撮って

クスクス笑っています。

お母さん流の

「おやすみ」です。

宮内 和美（母）

合宿で気づいたの。

お母さんをつとめるのは大変だったこと。

服や物の整理をして、

次ある事の準備をするのを、

お母さんは手伝ってくれていたよね。

しかも、

朝ごはん、

せんとくもして大変だね。

いつもありがとう。

石山 早希 (小5 津幡町)

早希が合宿に行っている間、

一人分少ない洗濯物や朝ご飯。

楽なはずなのに

何だか物足りない気がしたよ。

「ポロシャツどこ？」

「今日のご飯よりパンにして！」

騒がしい毎朝が、楽しくて幸せだった、

ママも気づいたよ。

石山 孝子 (母)

ずっと思っと思ったこと。

何でぼくばかりおこるん？

妹や弟が悪いことだってあるんに。

モヤモヤしてたけど、

やっと聞けたよ。

自分の気持ちを伝えて、

じっくりお母さんと話したら、

むねがスーッとしたよ。

大野 暖人 (小5 かほく市)

慌ただしい日々の中で

暖人との会話が減っとなること、

ずっと気にしとってん。

力のこもった目で、

訴えた言葉は胸に刺さったけど

嬉しくもあったよ。

まだまだぶつかってきていいんやよ。

受けとめる覚悟はできとるからね。

大野 美和 (母)

最近、
 買い物かものの時に
 手をつな繋いでくれなくなったよね。
 家いえでは甘あまえん坊ぼうなのに。
 これも成長せいちょうの証あかしって喜よろこぶべきなのかなって
 思おもいながらも、
 まだまだ柔やわらかい手に
 触ふれていたたい気持もちでいっぱいです。

横山よこやま 佳子よしこ
 (母)

私わたしもつないでいたいけど、
 周まわりの人がどう思おもうか心配しんぱい。
 友達ともだちに会あったらはずかしい。
 だから、
 なんとなくつなぎたくない。
 でも、
 二十才はたちになったらまたつないであげる。
 それまで、
 妹いもうとの手てでがまんしてネ。

横山おうか 旺香わうか
 (小5 羽咋市)

お母さん、
いつも仕事、家事を
毎日毎日してくれて

ありがとう。

私は少し耳が悪く、

ふつうの子ではないけれど、

あたりまえのように接してくれてるよね。

これは私にとってとても心の支えになっています。

ありがとう。

中谷 美海 (小6 白山市)

美海へ

人は、障害の有無に関係なく

人や物に支えてもらっているよね。

支えてもらって当たり前ではなく、

支えてもらっている事に気づき、

「ありがとう。」

と言える娘に成長したね。

そんな美海も沢山の人を支えているよ。

中谷 智子 (母)

僕の家には雷神がいます。
怒ると鬼の形相で雷を落とします。

僕は毎日

「桑原桑原。」

と唱えています。

でも雷神様は、

おこづかいもくれますし、おいしいご飯も作れます。

僕は雷神様が大好きです。

いつもありがとうございます。お母さん。

大崎 希望 (中1 白山市)

雷神様は、

鬼のような姿、

形をしています、

神様なので余程悪い行いをしない限り

雷を落とすことはありません。

安心して、

自分の好きな事や目標に向かってくださいませ。

いつでも見守っていますよ。

大崎 幹子 (母)

もうすぐ反抗期に入るでしょう。

今まで以上に、

迷惑をかける事になるでしょう。

いっぱい喧嘩するでしょう。

それでも、

ずっと彩芭は、

お母さんの事が大好きでしょう。

以上、

三上彩芭の未来予報でした。

三上 彩芭 (中1 かほく市)

間もなく

ホームに

思春期の彩芭さんが入ります。

この思春期は理由もなく

イライラしたりする時期でございます。

お母さんも通過したので

大体の気持ちはわかるつもりです。

いっぱい喧嘩をしましょう。

三上 綾乃 (母)

お母さんには技がいっぱいあるよね。
どこを攻めても勝てません。

スルーの技、

溺愛の技、

友達になる技、

鬼になる技。

どうしても勝ちたくて

私は反抗期の技を使ったけど、

やっぱり勝てないからそろそろ終了するね。

中市 さくら（中2 珠洲市）

最近、

お母さんへの扱いが

ザツだと思ってたら、

反抗期の技を使ってたんだね。

残念ながら、

その技はダメージゼロだよ。

次はどんな技で攻めてくるか楽しみです。

まだまだ負けないよ。

中市 理恵（母）

お母さん、
私を支えてくれてありがとうございます。
キャプテンは辛くて、苦しくて、
やめたいと何度も思ったけれど
お母さんのおかげで最後まで
続けることができたよ。
引退した今だから伝えられる。
本当にありがとう。

中下 菜南 (中3 小松市)

引退した貴女が、
「自分で成長した部分はあるけど、
キャプテンをやって良かったとは思わない。」
の一言に、
母は貴女を支えきれたのかと考えました。
でも、
そんな貴女に伝えたい。
貴女は最高のキャプテンです。
拍手を送ります。

中下 有貴子 (母)